

メトトレキサートを服用されている患者様へ

1

メトトレキサートとは…？



リウマチ治療の中心となる重要なお薬です
(リウマトレックス・メトトレキサート・メトレート・メトジェクト)

2

どんな効果があるのでしょうか…？

服用を始めてすぐに症状が楽になるわけではありませんが、
服用後早ければ2週目頃より効果が出始めます。

服用を続けると炎症が治まり、痛みや腫れなどの症状が軽くなります。

3

どのように飲むのでしょうか？

1週間のうち、**決まった曜日**にのみお薬を**服用**します。



カレンダーに服用日の印をつけておくのも飲み忘れ防止になります

日 月 火 水 木 金 土

例



メトトレキサート

フォリアミン(葉酸)

AM (朝)							
PM (夕)							

注意事項

「飲み忘れた」「服用したか忘れた」等の場合には、**自己判断をせず必ず当院へお電話**ください。
(休診などの場合は、翌診療日にお電話ください)

また、次回の受診時に服用し忘れたことを**必ず主治医・看護師にお伝え**ください。

38℃以上の発熱・咳や痰が続き息苦しさがあるとき、食欲がなく水分も取れない時
帯状疱疹が出た時は薬を飲まずに休薬してください。

お薬の再開時期など、判断に困った場合は**必ずお電話**ください。

1~2週間休薬してもすぐに悪化する事はほとんどありません。

4

フォリアミン(葉酸)は副作用を防ぐために服用します



メトトレキサートと同時に服用しないでください

指示された量より多く服用しないでください

→治療の効果が弱まってしまいます

5

どんな副作用がありますか？



吐き気・頭痛・口内炎(以前にはなかった口内のただれ)

感染症

(細菌性)肺炎・膀胱炎などの尿路感染症・敗血症

皮膚や関節の感染症など急性期の感染症がおきることがあります

肝機能障害

(間質性)肺炎

痰の絡まない空咳・息切れ・呼吸困難・38℃以上の発熱

いつもと違う息苦しさや全身の強い倦怠感などの症状

6

日常生活でどんなことに注意すべきか？

サプリメントを飲む前には、必ず主治医と相談してください



日頃から、毎日のうがい・手洗い、風邪の予防に努め

風邪を放置しないことが大切です

薬の服用日はアルコールを減量するかなるべく控えましょう

インフルエンザワクチン・肺炎球菌ワクチンは積極的に接種しましょう



リウマチのお薬は免疫を抑えるので風邪の治癒が遅れることがあります。

市販薬を使用してもよいですが、症状が長く続く・判断に迷う場合は、
当院へお電話で相談をしてください。

他の病院へ受診される場合は、ご自身の内服薬を伝えるようにしてください。

※電話でのご相談内容によって診療と判断した場合、電話等再診料をいただく場合がございます。

こんなときは、一時、 服用・注射をやめましょう！

※以下の場合は、
一時中止し早めに医療機関へ連絡しご相談ください。

バイオ製剤・JAK阻害薬・

メトトレキサート(リウマトレックス)の服用を一時お休みすることで、
副作用が予防できる可能性が高まります。

1～2週間程度お薬を止めてもリウマチがすぐに悪化することは通常ありません。
まず一時中止して、早めに医療機関へ連絡または受診してください。

1 感染症が疑われるとき (コロナ・インフルエンザなど…)

かぜ症状(38℃以上の高熱・のどの痛み・頭痛など)が強い、微熱が1週間以上続く、
咳や痰が多い、いつもと違う息苦しさがある、リンパ節の腫れが続く、
排尿時の痛みや膀胱炎症状があるとき



2 以前にはなかった口内のただれがあるとき

メトトレキサートの副作用に口内炎があります。
お薬を飲み始めたり、増やした後に新しい口内のただれがいくつも出てきた場合



3 脱水症状(尿の出が悪い・口が渇く)が強いとき

熱中症・食欲低下

嘔吐・下痢などで脱水症状(尿の出が悪い、口が渇く)が強いとき



4 皮膚症状

带状疱疹(チクチク痛む赤い発疹や水疱がまとまってできる)や、
蜂巣炎(皮膚・皮下の細菌による化膿性炎症)が、からだの広い範囲に症状が出た場合



感染症にかかった時の対応について

感染症にかかった時、どのように対応したらよいか困ったことはありませんか？

免疫抑制剤を使用している方が、休薬をせず服薬を継続することで症状の改善が遅れる場合があるため**適切な休薬が必要です**。

症状のことでお困りの場合、当クリニックへ相談してください。

診療時間外(夜間・休診の場合)は、ご自身で判断し休薬していただくことが必要です。

感染症の症状・緊急時の対応方法

発熱時

1) 風邪症状・インフルエンザ・コロナなどのウイルス感染

いわゆる“風邪”は、かぜ症候群と言われる諸症状(くしゃみ・鼻水・せき・痰・咽頭痛・37℃台の微熱)からなり、90%はウイルスが原因です。

インフルエンザの場合は、38℃台以上の発熱をともなう事が多く、悪寒・全身の倦怠感・咽頭痛・咳・鼻水などの症状があります。



2) 肺炎

38℃を超える発熱が数日間続き、悪寒や全身の倦怠感に加え、呼吸困難感・息切れを伴う場合もあります。

せき・痰(色のついた痰：黄色・緑・鉄さび色)もみられます。

高齢者では、高熱が目立たず、食欲低下・歩行困難・意識障害などの症状として発症することもあります。特徴的な症状がないために、気づくのが遅れ状態が悪化し救急搬送されることも少なくないため注意が必要です。



対処方法…

医療機関へ受診してください。インフルエンザなどの検査をしてもらい、治療薬を使用することで症状が早く改善する場合があります。

- ・メトトレキサート(リウマトレックス)・JAK阻害剤を内服している方
→発熱・咳・鼻水が長引く場合は、休薬してください
- ・メトジェクトや生物学的(バイオ)製剤を使用している方
→症状が続き、注射日が近い場合は休薬してください



再開時期の判断に迷う場合は、クリニックに相談してください。

带状疱疹

症状…

身体の左右どちらか一方に、ピリピリと刺すような痛み、
斑点と小さな水ぶくれが帯状にあらわれる病気です
带状疱疹は身体の中に潜んでいたヘルペスウイルスの一種によっておこり、
水ぼうそうに罹ったことがある方は带状疱疹になる可能性があります。



加齢やストレス、過労などにより免疫力が低下すると、
潜んでいたウイルスが再び活動を始め、神経を伝わって皮膚に到達し
带状疱疹として発症します。



初期症状



症状悪化時



対処方法…

※ 症状が現れたときは、すぐに皮膚科を受診してください

〔带状疱疹と診断され 抗ウイルス薬など処方された場合〕

- ・メトトレキサート(リウマトレックス)・JAK阻害剤を内服している方
→休薬してください
- ・メトジェクトや生物学的(バイオ)製剤を使用している方
→抗ウイルス薬を内服している間は注射をせず、休薬してください



抗ウイルス薬の内服が終了し症状が落ち着いてきている場合は、
注射を再開しても問題ありません。

再開時期の判断に迷う場合は、クリニックに相談してください。

ヘルペス

症状... ヘルペスとは皮膚や軟膜に小さなみずぶくれが集まった状態のことで、ヘルペスウイルスによる感染症のことを指します。
一度ヘルペスウイルスに感染すると、症状がおさまった後でもウイルスは潜伏し免疫力が弱まった時などに再発します。

口唇ヘルペスの症状は、初感染時と再発時、年齢などによっても症状は異なります

大人になってから初めて感染した場合、通常4～7日後に感染た場所が赤く腫れ水ぶくれが多数現れます。

感染部位付近のリンパ節の腫れや痛み・発熱・だるさ・頭痛など強い症状を伴うこともあり、治るまで2～4週間かかります。

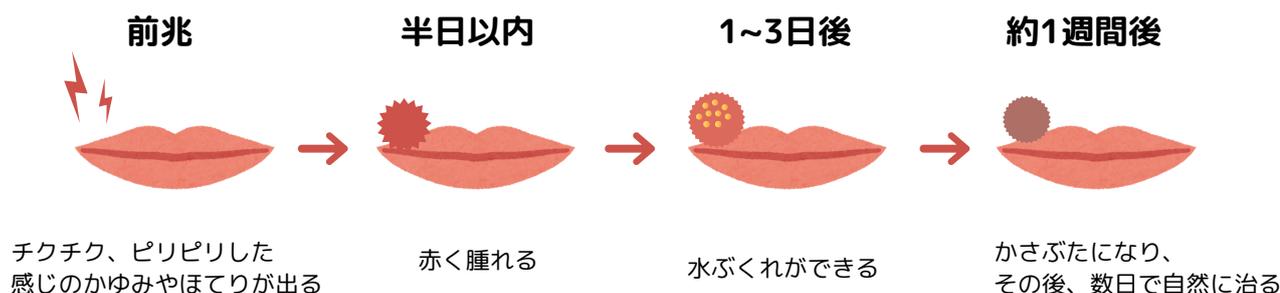
初感染の場合



口唇ヘルペス



再発の場合



対処方法... ※ 症状が現れたときは、すぐに皮膚科、耳鼻科、歯科を受診してください

〔ヘルペスと診断され 抗ウイルス薬など処方された場合〕

- ・メトトレキサート(リウマトレックス)・JAK阻害剤を内服している方
→休薬してください
- ・メトジェクトや生物学的(バイオ)製剤を使用している方
→抗ウイルス薬を内服している間は注射をせず、休薬してください

抗ウイルス薬の内服が終了し症状が落ち着いてきている場合は、注射を再開しても問題ありません。

再開時期の判断に迷う場合は、クリニックに相談してください。